

(別表第1の4)

事業所名グループホーム すまいる

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	13・39	日々の買い物や暖かい日の散歩等は、常に出て来ているが、冬場は天候に左右され、外出の機会が少ない事、それに伴ない、地域の方との交流や顔なじみとの会話等が少なくなっている。	少しの時間や近場でも、施設外に出かけ、季節感を感じる事で、日常生活に張りを持って頂く。近所の窯元や喫茶、イベント参加の機会を設け、顔なじみを増やしたり、楽しみを持てる様にする。	①イベント情報や近所の飲食店等ピックアップ。 ②入居者と話し合いながら、外出計画を立てる。 (嗜好品、行きたい場所) ③外出先の下見、予約等。 ④入居者個々のレベルに応じた計画を立てる。(送迎者の手配、職員の配置等)	12 か月	
2	5・14	個々の現状維持、又は可能性に応じて体力の向上に努め怪我なく安全に過ごして頂く。	個々に応じた生活リハビリを取り入れたり、ご本人の出来る事を続けて頂き、怪我や転倒の無い様、安全に過ごして頂く。	①自傷行為のある方には、内出血等出来ない様に住居環境を整え、必要に応じた保護等を行なう。また行動パターンを把握し、見守りの強化を行なう。 ②下肢筋力の低下を防げる様、日々の生活の中で、個々に応じた、立位訓練、階段昇降、スクワットなどの運動が出来る様、声かけや見守り、介助を行う。 ③日々の体操や体操教室の継続。 ④手先を使って頂く作業への参加や介助(家事参加や工作) ⑤楽しみながら脳トレ(ゲーム等の提供)	6 か月	
3	9・37	今日1日の個々の入居者へのケアとしての方向性や「やってみよう」が徹底されていない。また家族の思いをもっと聞かせて頂き、より良いケアを目指したい。	今の支援が入居者の意向や思いに添っているかを常に見つめ直し、入居者や家族が遠慮なく思いを話して下さったり、一緒に考えて行ける関係性を、今以上に築く。	①毎日の申し送り時に、その日1日の支援を決め、伝達する。 ②ケア記録をこまめに記録したり、必要事項や職員全員が、必ず情報共有しておきたい事柄は引継ぎがスムーズに出来る仕組みを作る。 ③職員の連携や作業がスムーズに行える様、協力体制を強化し、ケアカンファレンスを行なえる機会を増やす。 ④個々の入居者の話をもっと聞ける時間を、各自が作る。 ⑤ご家族面会時、日々の支援報告と共に、ご家族の思いを聞けるよう、もっと話せる機会を作りたい。 ⑥問題点や入居者について気づき等あれば、直ぐに報告したり、カンファレンスの開催を随	12 か月	

注1)項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。